



No.105では、1月24日にあった「道の語り部養成講座」と、2月21～23日に行われた「愛宕市(あたごいち)」での活動の様子をお伝えします。

○道の語り部養成講座

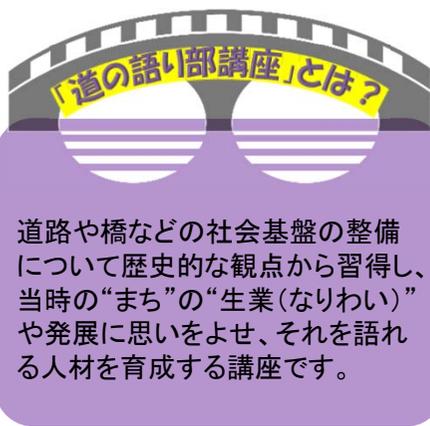
令和2年1月24日(金)

●長崎市の橋の歴史 ～450年間の橋の歴史～

前回の道の語り部養成講座「長崎市の歴史的橋巡り」(道守長崎通信vol.94で紹介)は、中島川沿いの橋を巡りながら橋の歴史とまちの発展を学びましたが、今回は座学ということで、岡林先生が所有する貴重な写真や資料を交えながら「長崎市の橋の歴史」について学びました。

江戸時代に作られた眼鏡橋などの石橋からはじまり、明治初期に中島川河口部に架けられた出島と外国人居留地を結んだ木橋、明治中期の木鉄混交橋、明治後期の鉄橋(トラス橋)など、時代の流れと橋の歴史の説明があり、その時々々の土木技術の最先端を走っていた長崎の様子が伺えました。

日見トンネルの開通式や長久橋の渡り初めの新聞記事には多くの人だかりができており、一般市民の社会基盤整備への関心の高さを物語っていました。岡林先生は「我々土木技術者が怠ってきた『土木の価値を上げていく』事が必要」と話されていました。「道の語り部講座」で土木技術者自身が学び、語り部となり、一般の方に社会基盤整備の重要性を広く伝えることができればと考えています。



日本で最初に建設された鉄筋コンクリート橋は長崎市の本河内低部ダム放水路橋なんです！



活動紹介

令和2年2月21～23日

「愛宕市(あたごいち)」でのボランティア活動

2月21～23日の3日間、佐世保市相浦町開催されている「愛宕市」でごみの収集ボランティア活動を行いました！

相浦町の「愛宕市」は440年以上続く伝統行事で「春をつげる愛宕市」として佐世保市民に愛されています。相浦町本通りの約1.5キロメートルが歩行者天国として開放され、植木、竹細工、陶器などの露店が軒を並べ大賑わいとなります。

道守長崎会議の佐世保地区のメンバーが6名×3日参加して、ごみ箱を計14個設置し、1時間ごとにごみを回収し、収集用台車で集積場に収集しました。

清掃の様子



緑の道守ピブスを着て、ゴミ収集用台車にはのぼり旗を掲げて、しっかり道守をPRしながら活動しました！



清掃活動だけでなく、サンセットロードの夕日のパネル展示及びマグネットシールの販売、見どころマップの配布など、ながさきサンセットロードのPRも行いました。

最終的には、配布されたゴミ袋100袋(50L)と、市販のゴミ袋20袋(90L)分のゴミを回収し、露店や主催者に非常に感謝されました。



お問い合わせ・情報提供先

国土交通省 長崎河川国道事務所 調査第二課 古賀
住所: 〒851-0121 長崎市宿町316番地1
TEL:095-839-9861 FAX:095-839-9648

★活動情報募集★

皆様の活動状況の情報提供をお願いします。